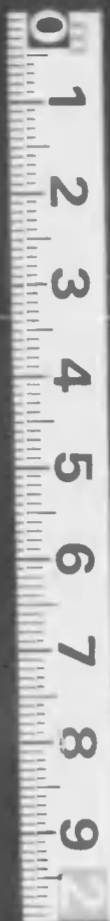


週寫眞
報

編輯部報情閣内
七十・號六廿百第・日四廿月七

佛印第一報





影攝 山内閣内情報部員

佛印監視員が向に視察境國
 丸の日にすれ忘に中の物荷くゆて持は自除視境國
 うとれはまからかものた靴にに意決のそ た人入を

二十日からは極めて廣範圍に亘る物資の輸送を禁絶することとなり、かつ日本側から現地調査員を派遣すること、異議なき旨の回答を書らしめた。

よつてわが方は陸海外の三省から佛印における援護物資の輸送状況監視のため現地に派遣する監視員として陸軍側は西原少将を、海軍側は柳澤大佐を、それぞれ委員長、外務省からは山村元ハノイ總領事その他数名からなる監視團を佛印に派遣した。

わが佛印監視團の西原少将はじめ各委員は飛行機で六月二十九日ハノイ着ととも佛印總督カトルー將軍と第一回の會談を皮切りに、その



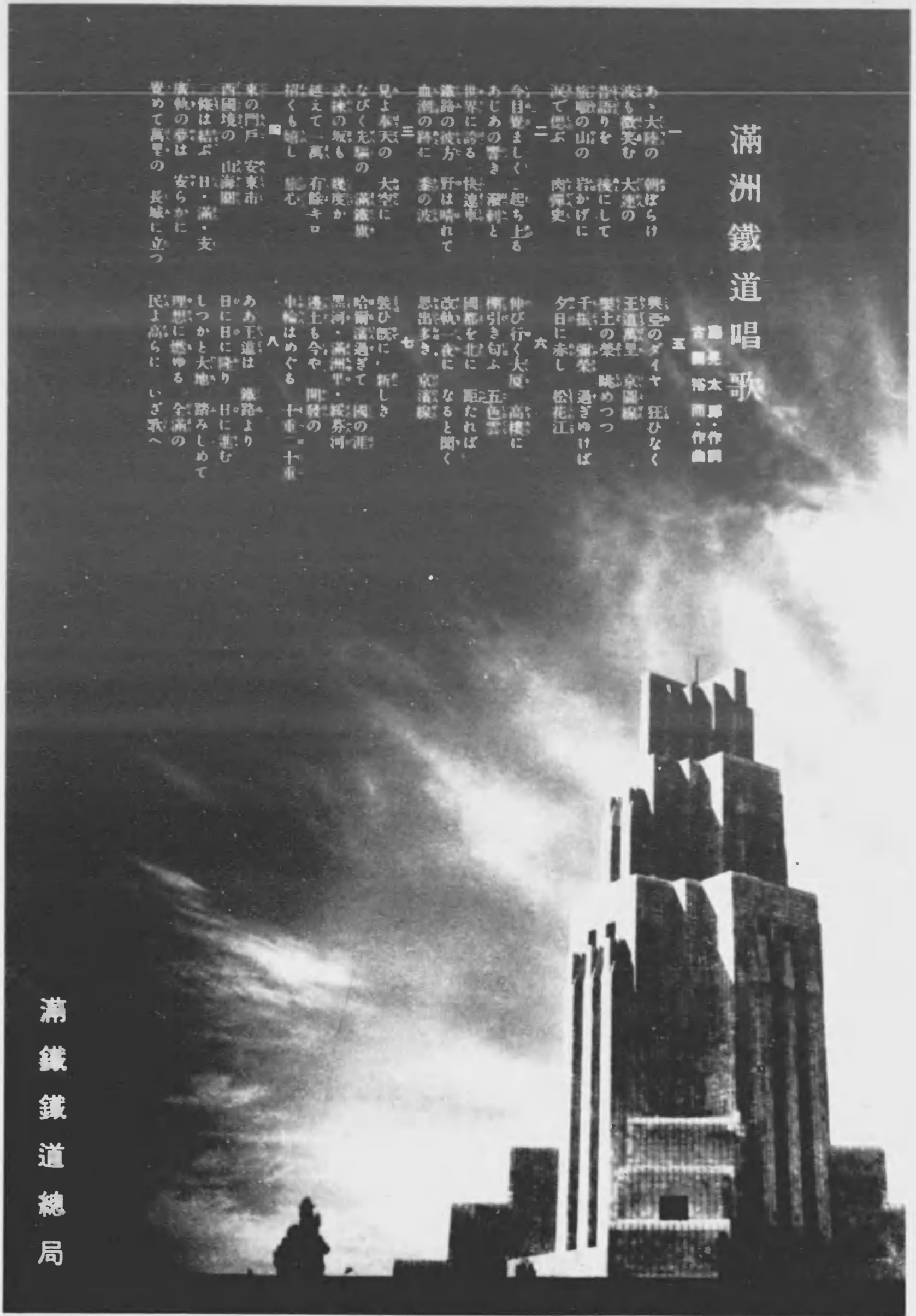
東亞新秩序の建設をめざして、支那事變を戦ひつゝあるわが國にとつて、これに敵性を示す援護行為は何國といはず断乎これを排撃しなげればならぬ。

支那事變が勃發してからフランスが英國とともにわが國に對して敵性を發擇したことは明白であるが、佛印印度支那はその重要據點であつた。そこで佛印の敵性を一掃するたりに帝國政府はアンリ駐日フランス大使を通じてフランス政府に嚴重な抗議を申込んだ。その結果、佛印の對支物資輸送につきフランス側は既に十七日から、ガソリン及びトラック等の對支輸送を禁止してきたが、わが政府から再度の申出もあり

とうとする氣運が見られる。

七月十三日カトルー總督は「佛印對外貿易情勢の現在と將來」と題して長文の意見書を發表し、重要産物について佛印は本國に代り、日本に販路を得、農産物の對日輸出は最近相當に増加してをり、佛印の經濟危機は日本が救つたといへり。

更に日本は石炭、鐵礦、鹽等のとき顧客で將來ゴム、亞鉛、錫等も大いに對日輸出の可能性があり、日本から綿糸布、生糸、人絹、陶磁器、化學製品等が輸入され、は佛印と日本との經濟關係は益々緊密とならうと述べてゐる程である。



滿鐵鐵道總局

滿洲鐵道唱歌

一、大陸の朝ぼらけ
 波も微笑む
 昔語り
 旅の山の
 涙で濡ぶ

二、今日まじく
 あじあの香き
 世界に誇る
 鐵路の成が
 血潮の奔れ

三、見よ奉天の
 なびく光輝の
 武林の坂も
 延えて一萬
 招くも

四、東の門戸
 西國境の
 二條は結ぶ
 東の夢は
 喜めて萬里の

五、興亞のダイヤ
 王道の榮
 聖土の榮
 千世の榮
 夕日に赤し

六、伸び行く大原
 橋引き句ふ
 國都をわに
 改軌一食に
 思出まき

七、装ひ既に新しき
 哈爾濱過ぎて
 黒河・滿洲里
 遼土も今や
 車輪はめぐる

八、あゝ王道は
 日に日に降り
 しつかと大地
 理想に燃ゆる
 民よ高らかに

九、狂ひなく
 京師
 眺めつつ
 過ぎゆけば
 松花江

十、高樓に
 五色雲
 距たれば
 なるど聞く
 京漢線

十一、十重
 二十重



現地交渉進む

かつては佛印敵性の總本山、現在は授勳行為を中絶して親日友好に覚醒しつつある佛印總督府

ハノイ總領事館の事務室に鈴木總領事の活動情報は電話を通じてひっきりなしに集まる



わが監視員派遣と呼んでハノイ總領事館は勇躍協賛行為の監視を開始、多大忙をきかけてゐる

合つて見れば敵ではない。お互ひの立場も話せば案外すらくと了解できる。地圖を圍んでカトルー總督(左)と打合せする西原少将

監視員といつても、鶴の目、鷹の目で佛印を監視するばかりではない。わが監視員の陸軍側委員長西原少将は佛印政府當局者の案内でハノイ陸軍病院を見舞つた

**佛印監視員
隨行第一報**

佛印監視員隨行第一報

わが監視員派遣團本部



わが監視員派遣團本部を警戒する安南兵



各派遣委員との間や本團の聯絡通信に忙しい派遣團本部の中島通信班



派遣團本部の通信班は電報發受信に大奮



緊張する監視隊員本部



ハイフオンのわが海軍監視場(臺南事務所)で佛人聯絡將校と會見する柳澤海軍大佐(寫眞向つて左から二人目柳澤海軍大佐、一人おして佛人聯絡將校)

佛印著陸第一歩



内山林之助手記

佛印著陸ルート遮断の重い使命を兩翼に擔つて去る七月三日、朝霧立ちこめる臺北飛行場を飛び立つたわれわれ、大本營監視隊員の搭乗機は三機編隊の機首も力強く颯風を孕んで荒れ狂ふ臺灣海峡を一気に、大陸の海岸線に沿つて一蹴ひハノイへへと南下したのである。刻々昇る機内の寒暖計につれて意外の景色も刻一刻とその相貌を變へてゆく。いつしか海岸線を離れ大機は一望千里紺碧の海原に出た。頭上には白熱の太陽が燃々と青空に輝いて赤道近きを思はせる。聞けば機は既に海南島を通過して東京灣にさしかかつてゐる由、ハノイももう直ぐだと思ふ間もなく機はソクノイ河口に近い佛印の地に兩翼の影を落したのである。

機上から始めて見る佛印の土地——それは東京米の産地として有名な東京平野——目のとどく限り青々とした水田だったのである。この廣漠たる平野を紅く縫つて流れる大河はその名も紅きソクノイ河(ソクノイとは上語で紅の意)だ。機はグン／＼高度を下げる。緑の城、赤瓦に白壁の家。お見える、茫然と水田に突立つたまゝわれらの機を見上げる農夫の姿、家々からは先を争つて子供も飛び出して来る。機嗣にクツキリ描かれて日の丸を見て彼らは何と感じたらうか……

フトこんな感慨が胸裡をかすめた次の瞬間には機はフア／＼と二三度軽いショックを受けてハノイ飛行場に着いて了つた。時計を見ると午後四時二十八分。なんと早い空の旅。

機體を出ると鈴木總領事始め在留邦人多数がわれ／＼を迎へてそこに感激の握手が交されてゐる。僕らはなにかしら眼頭にチツと熱いもの、流れ出るのを察せられなかつた。

かくして安南兵のオドけた接銃の間を縫つてわれ／＼は宿舎に當てられた佛印第一のメトロポールホテルの一室にコンバッチばかりの手厚い歓迎を受けつゝハノイ第一夜を迎へたのであつた。

ハノイに着いてからの監視隊諸氏の涙ぐましい活躍については既に内地の新聞紙にも掲載されてゐること、思ふからこゝでは割愛し、以下ハノイ印象記をいさゝかペンに托すことにする。

先づ第一に驚いたことはハノイの暑さだ。この暑さは到底内地では想像出来ない。太陽が白く輝いて、凡ての景色が白く光つてゐる、直射日光は骨を射すほど痛い。こゝで始めて僕はヘルメットの効用を知つた。ヘルメットなしではとても日中の路上を歩けないのだ。汗はそれほど流れない、といふのは出るだけ出て了ふと後には補給する水が内地のやうに飲めないからだ、水が悪いのだ、安南人のあの生気のないシナびた姿、宜べなる哉だ。



ハノイ風物詩

1 路上にバイナップルを賣る安南の女、安南の女は昔の日本婦人のやうに凡てオハグロで齒を染め、翠染の女のやうなベニガラ染の着物をきてゐる。
 2 ハノイの市中にアチラクといふ池がある、地中には支那風の古塔があり、周囲が公園になつてゐて、夏の夕など青年男女の楽しい散策場となつてゐる。
 3 緑のオアシス、美しい並木道、こゝは随行者團の宿所マトロポールホテル

東洋一の華麗を誇る白壁のハノイオペラ劇場は灼熱の陽に照り返り屋外はわねの想像もつかない灼けつくやうな暑さだ

アチラク池畔の花賣店、可憐な少女が毎朝早くから朝露にぬれる美事な蓮の花を運ぶ市井に賣つてゐる

佛印監視員隨行第一報

次に驚いたのは官衙も商店も凡そ街頭の機能午前十一時から午後三時まで停止してしまふことだ。商店は露戸を、住宅は雨戸を、深く閉ざして一齊に喪失してしまふのである。
 ハノイに着いた當座三日はそれと知りずかメラ片手に一人ハリ切つて街を飛び歩いたが、晝前後になるとスウツと人影が消えてしまふ。郵便局に電報を打ちに行つても戸が閉つてゐて駄目、買物も駄目、たゞ開いてゐるのはレストランのみだ。不思議に思つてホテルのボーイに尋ねて見た結果がこの晝寝なのである。開けは午睡といつても日本のそれと違ひ、着物を着かへて本格的に睡眠をとるのださうだ。
 ハノイに滞在既に旬日餘、この頃では僕も午睡しないとなくなつて物足りない。といふよりこゝでは午睡は生理的に絶対に必要なのだらうとさへ思へてきた。不思議なものだ。
 次に驚いたのは安南人の顔が非常に日本人と近似してゐることだ。米のことを安南語でコムといふやうだがこの邊にもなにかしら遠い昔の血のつながりが感じられ、たゞでさへ日本人を見るときさうに近寄つてくる安南市民に僕らはなにかしら親しみを感ずることである。
 佛印問題勃發の當初土地の機關新聞が「日本の侵略的野心」などといふ記事を掲げ、大いに安南人の反目的氣分を煽らうとしたところ、結果は豫想に反して却つて安南人の憤激を買つてたう／＼當初の計畫を中止するのやむなきに至つたといふ。
 安南人の日本にかけた希望はこのやうに大きくそれた日本人に対する憧憬は今や大きな民族的感情にまで進展しつゝあるといはれる。東亞新秩序の黎明は今や赤道近い佛印にまでその光芒を投げかけつゝある時、この感情は益々大きな實を結ぶ秋が来るであらうことを東洋平和のために祈願して第一報としよう。



近く實施される 國民體力法

厚生省體力局

國民の體力は、國家の活動力の根本をなすもので、その向上を圖することは、如何なる國家、如何なる時代にも等閑視してはなりません。戦時國家の建設といふ事業の遂行に必要にしてゐる現在の我國としては、極めて重要な問題であるといはねばなりません。

この體力検査の果して如何なるものであるか、これは、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる



この検査は、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる

これらに對處するために、これまでも國なり種々の方策が講ぜられてきた。體育運動の奨励、保健施設の擴充、労働條件の改善など、故學に盡ないやうな努力がなされてきた。故學に盡ないやうな努力がなされてきた。故學に盡ないやうな努力がなされてきた。

をもちて保護監督することが實効として確立されてゐる。ここにこの條例の上に立って、國民上の義務ともなされてゐるものがある。

理者とすることは、實際上困難であるばかりでなく、心身の發育期にある者について管理する方が醫學上からいっても最も適當である。

國民各員自身の健康に留意し、體力の強化に努めることは、平素の身づくろひの義務である。この義務を履行し、國民各員としての名譽ある活動をするべき義務を負ふべきである。

この國民體力法は、このやうな進行に則して國民の體力を管理しようとするものである。この體力の管理といふのは、體力の検査を行つて、これに基づいて種々の處置をするをいふのであります。

次に醫師が身體全體を診察するのです。醫師が診察して丈夫かどうか、病氣に罹つてゐるかどうかの程度で、どういふ治療をすればよいかなどが分るので、これに基づいて本人なり親なりに適當な指導を與へるのであります。

この運動機能の検査といつても、何も無理して記録を作るといふこと目的ではありません。だいたひ何歳からの男子なら、この程度の體力が標準であるといふ風に決めておいて、その程度を、十代のものを、この標準に引き上げるべきに努むべきです。

體力検査を受けたものは、體力検査の結果が如何なるか、これは、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる

本人の發育の程度をとどめることもできるやうになつて便利で、従つて、この手帳は注意し、本人に保存せねばなりません。

活は、青少年の體力にどの程度、また如何なる割合に影響を及ぼしてゐるか、農村での乳幼児の發育状況はどうかなどといふことが正確に分るので、4次の保健政策の徹底強化、即ち社會保険の普及、労働制度の改善、保健所の整備などについても急務を感ずることができるといふ。



この體力検査の果して如何なるものであるか、これは、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる

この體力検査の果して如何なるものであるか、これは、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる

この體力検査の果して如何なるものであるか、これは、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる

この體力検査の果して如何なるものであるか、これは、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる

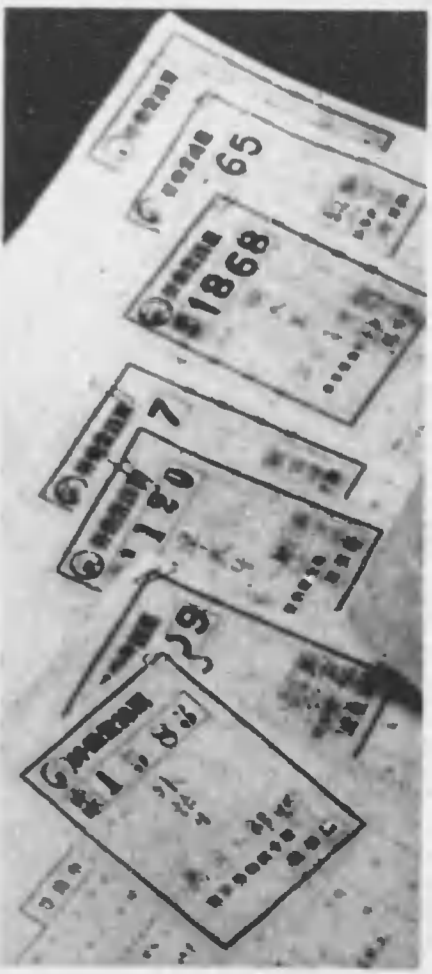


この體力検査の果して如何なるものであるか、これは、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる

この體力検査の果して如何なるものであるか、これは、市町村を単位として行はれるから、自分の住んでゐる市町村が如何なる

心のこ腕のこ夏のこ

東京労働紹介所



上 紹介所には毎日四、五十名の学生が登録におしよけてくる、彼等の一人にも真剣に時局に生きよとす決意が燃えてゐる中、今日も朝から日射は強い。しかし、青葉をとび出し、きりりと脚絆を巻けば、新しい氣力が自づと體内に湧いてくる。今日も一日働き抜くぞ

下 登録を中込んだ学生に交付される労働券

東京の大学専門学校の学生數百名は、この夏休みに、毎日自らすすんで労働登録をし、東京労働紹介所の窓口で一般労働者と同じやうに「君は〇〇工事現場、あなたは陸軍××廠」とその日の職場、いや、學生にとつては尊い汗の鍛錬道場の「行き先きカード」をもらつて懸命に働らいてゐる。昔は夏休みを寝て暮した學生もあつた。今日の學生は炎天下に馴れぬスコップを握りトロツコを押し、生白い身を直接労働に投じて、働らくことの尊さと、若い筋體の鍛錬と、僅かの間でも世の中の手足を自分達の腕で助ける喜びとを味はつてゐる

無論、労働力は一般労働者に及ばないが、頭腦の働きは豫想以上のものがあり、災害を未然に防いで表裏された學生もある

勤務に従事しようとする學生は先づ學生課の手を通し、東京労働紹介所で登録申込書に所要事項を記入して登録を中込む。登録の了んだ學生は労働券をもらひ前日の夕方、就労先を紹介されて一日勤務するとまた紹介所に歸り、その日の賃金の支拂を受けその時また明日の就労先を紹介される仕組みになつてゐる

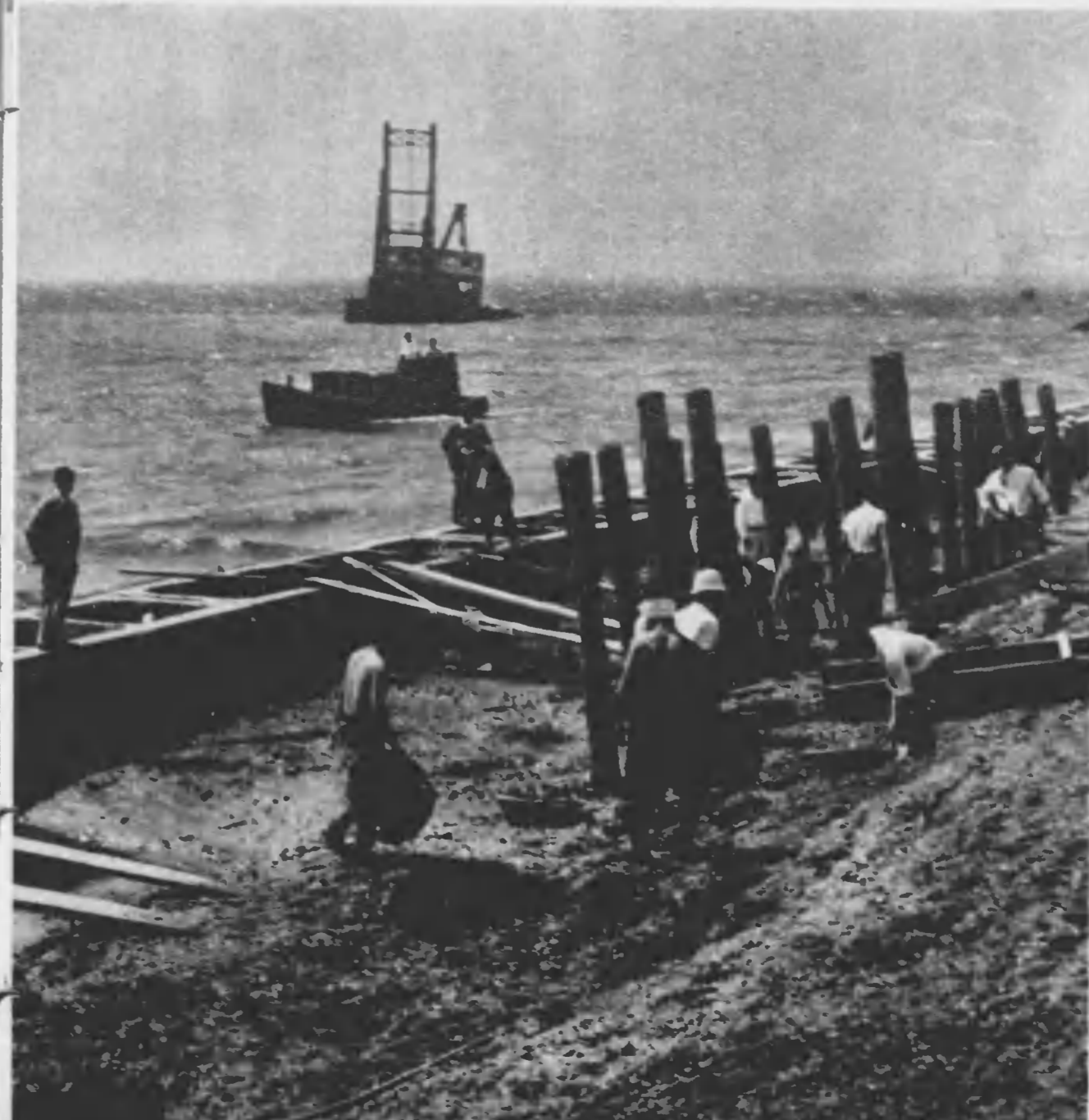
炎天に玉なす汗をぬぐひながら黙々と働いてゐる日焦けた學生の姿には、時局に協力して再出發ししうとする力強い意欲が見られる

京濱運河の二號埋立地には四十名に近い學生が一面となつて建設工事にたづさはつてゐる
 慶應も早稲田も仲好く手を携へて働らいてゐる

さき飯だ。うまいもまづいもない。空ききつた腹には手辨當も山海の珍味に優る、働く者の喜びがふつ／＼と感じられるのだ



二人協力でケイソンの中埋立作業、繰り返してゐるうちに二人の氣が合つてバイスケ(俵)から砂礫は氣持よくバイされる





入道雲の端から強烈な陽がきらついて、彼れてくると目がくらむやうな熱風が海からあはつてふき渡る、尤がトロワコを押す学生たちはたゞ力一杯、腕を突つぱり、脚をふんばる



今日一日、血と汗との結晶です！この尊い報酬を酒や享樂になぞ、とても勿體なくて消費は出来ませんと、彼等はしみ／＼語るのである



心を練る女生徒



心を静めて面壁の禪

食事かすむと合掌して心からなる感謝の禱りを捧げる

長廊下になれがふ僧衣の人には自づと敬虔の心が湧いて會線の頭が下る

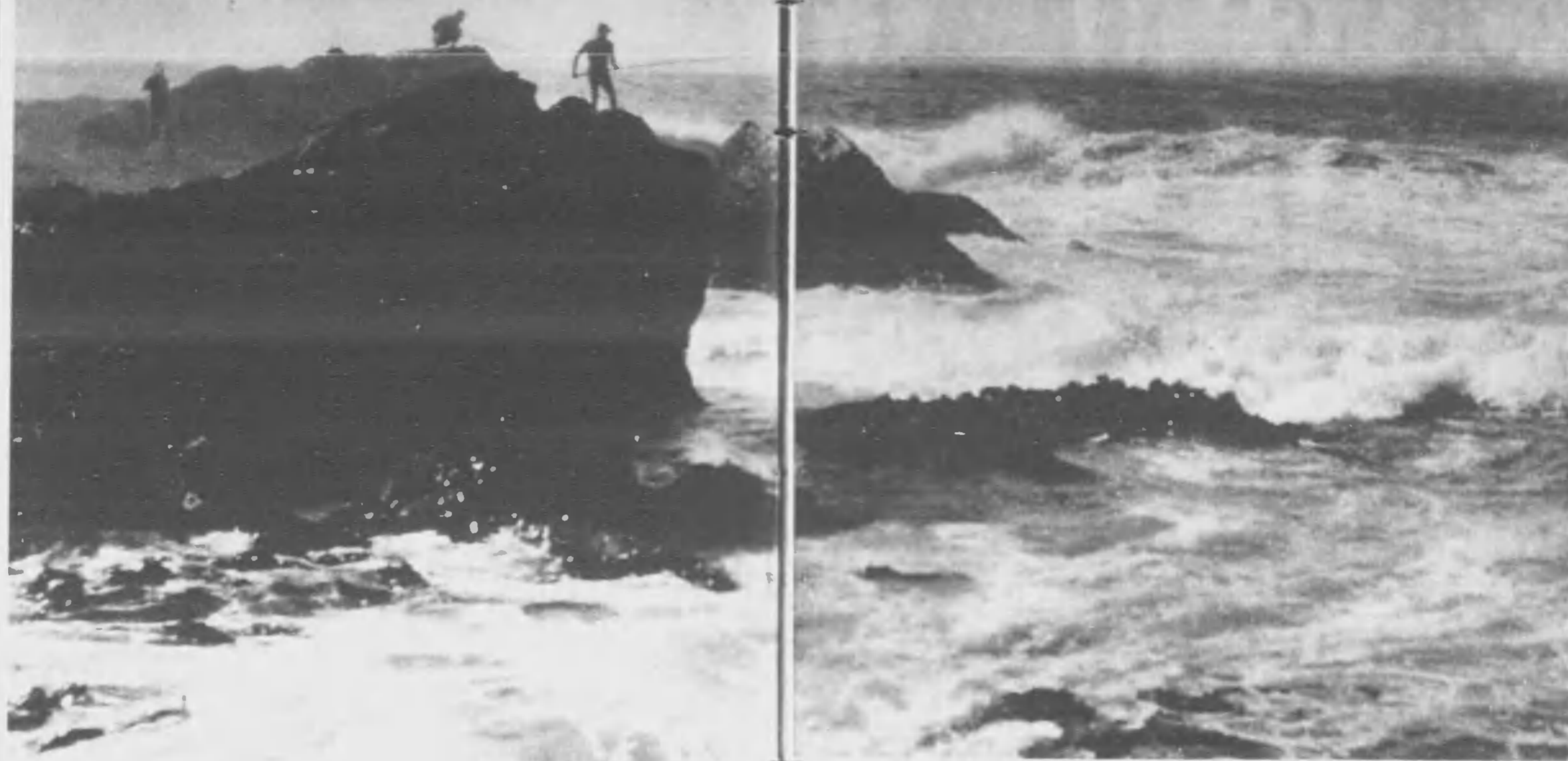


東京音楽学校の女生徒約二百名は三班に分れて七月十日から十三日まで神奈川縣鶴見にある總持寺で淺野軍頭老師指導の下に禪の修業を積んだ。先づその日の午後四時までに總持寺に集合した一班約六十名の女生徒は、直ちに沐浴場で脂粉を洗ひ落して清らかな童女にかへり、午後五時、さゝやかな精進料理に夕食が終ると、師に對する心構へ、單(禪)をくむ(慕)の上り方、足のくみ方等師の豫備講話があつたのち、同七時いよ／＼禪室に入つて靜坐一時間の禪の修業

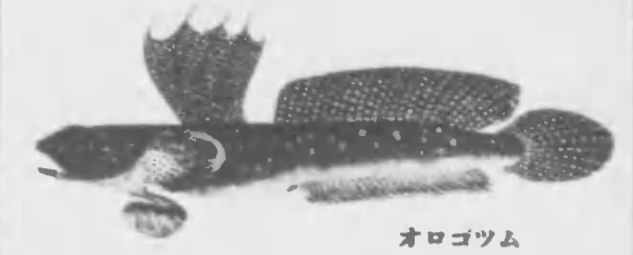
百八の昏鐘が夕闇に響々と流れてゆくとその余韻に乗つて虫の聲が僧堂を包むやうに湧いてくる、僧堂は空寂に靜まりかへつて、大きな花模様振袖に紺の袴、お河童頭の俄か雲水は足のしびれをもともせず煩悩を絶つて冥想にふけつたのである

同夜はこゝに一泊、翌朝未明に再び坐禪を行つて、常日頃西洋流の音楽の世界に浸頭してゐた生徒たちも、この日はかりは空室々々の禪の世界にひたつて時局に處する力強い氣構へを養つた

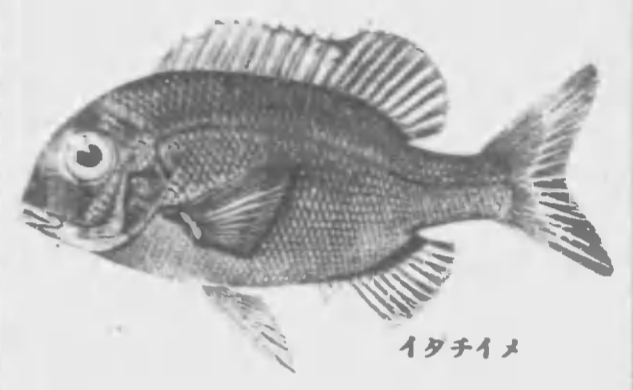
べ調魚おの渚



ゼハヒト



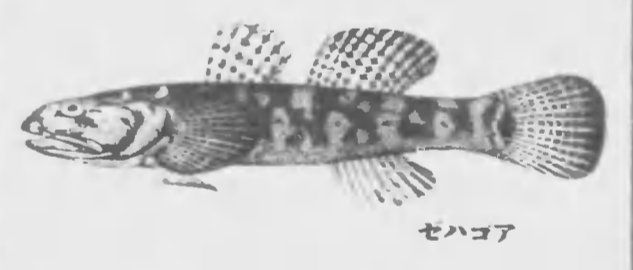
オロゴツム



イダチイメ



メカア



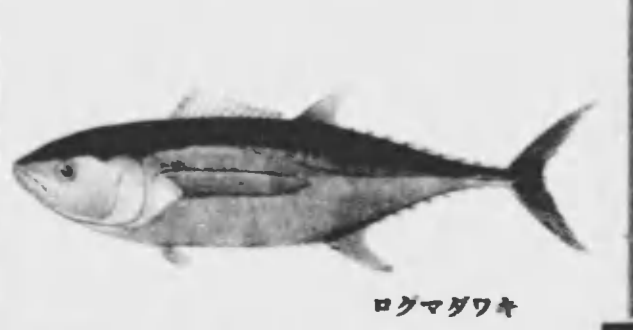
ゼハゴア



ラベコタ



ミススイ



ログマダワキ

夏の科学

夏の魚は、水温が上がるにつれて、その生活の仕方も変わります。たとえば、冬は深層に潜り、夏は浅層に上ります。また、夏は産卵の季節で、多くの魚が産卵のために浅層に上ります。このように、夏の魚は、水温の変化に応じて、その生活の仕方も変わります。

わが内地は魚から考へて、南日本、中日本、北日本の三つに分けられるが、これは主として気温と水温との寒暖の差によるのである。然しもつとわかり易く考へると中日本を省いて南日本と北日本との二つに分けられ、その界は千葉縣銚子(大味峠)である。南日本には温水性の魚が、又北日本には冷水性の魚が多いが、夏になると、全国に亘つて夏の魚が活況となり、冬を好む魚は隠れて暑氣を避けるようになる。さう考へても地方によつて温度が相違してゐるから、夏の魚でもそのゐる範囲は甚だしく異なる。

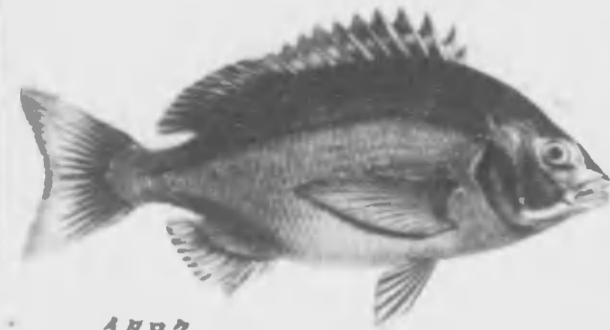
アカメは稍々スキに似たもので、これの親類筋に當るものである。東京では決して見られないが、高知でアカメ、宮崎でマルカといひ、アカメ釣り、マルカ釣りといひ、スキ釣りよりも遙かに雄壯なもので、産地で大いに喜ばれるものであるが、スキほど美味ではない。内灣に多いものであるが、河口を稍々上流へと溯る。印度方面のもので、熱帯魚である。

。それ故、酷暑の候には「土用隠れ」といつて、暑を避けるようになるから、なかく釣師の釣には、なかく「土用隠れ」は熱帯魚で、印度、パラオ、マニラ、琉球などにもあるが、その居所の北端は熊本縣馬山、馬山や神奈川縣厚木などにある数は少ない。和歌山縣や高知縣には多い。ゴクラクハゼは天張り熱帯魚で英城縣まではあるが、それより北方にはない。これら二つは臺灣や琉球にも多く、夏の魚である。

ロハゼが夏の魚であるのは同じ魚が熱帯方面にもゐるのである。ベラ類は我國に百種位あるが、なかく美しく、何れも北日本へは進入してない。南日本から遙かに南方へは進入してないものと、熱帯にもゐるものとある。内地に多いキウセンは頗る美しく、寧ろ毒々しく見へるが、それでも熱帯へ進出してゐない。チンスとオハグロベラは三崎にもあるが、南洋にもあり、スキベラ、カマスベラ、タコベラ、クギベラなどは東京附近にはないが高知縣沖島にあり、又印度にもある。



キバス



イタロク



チコ



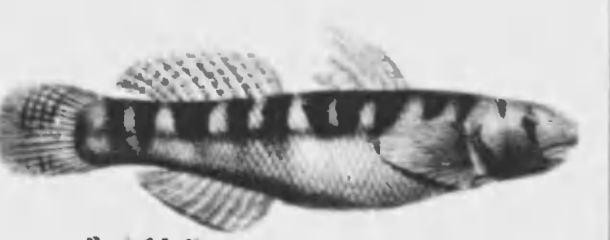
スキ



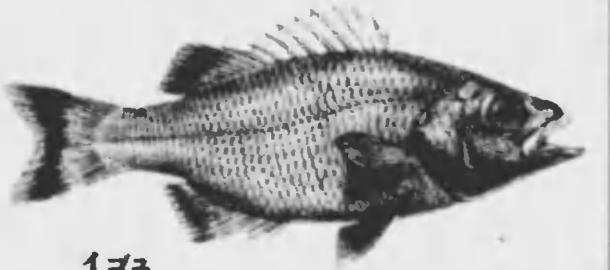
イエカア



イダクソフ



リコズオホ



イゴユ

東京帝國大學理學部 田中茂穂 動物學 教員

毎舌海のはそお
り進のこんだ

局支戸脚日朝阪大



節米強化の第一陣「節米強化」を断行して代用食を強行しよう」との中合せが、この程大坂府廳で開かれた近畿二府四縣知事の節米會議で決まりました。お役所や百貨店食堂は率先して米食を断行、銀行、會社、俱樂部、會館などの附屬食堂、それから料理屋や一般飲食店もこれに従います。「食」の世界にもまさに革新のとき來ると、各食堂ともそれ／＼改革をねつてゐますが、神戸市の某食堂では既製のやうな新料理を試作しました。

右食堂の戦時體制、「節米強化」の看板が物をいふ。左のお米を使はなくてこの通り

1・5のり巻ずし(飯の代りにそば)、2和定食(飯が手だんこ)3にぎりずし(だんご)4赤飯(だんごの中に小豆をホツ／＼入れてあります)、6幕の内(飯がそばで玉子焼とのりで巻いてあります)7鱈丼(鱈そば)



本館からあなたは何を學んだてせうか?

1 安南人の国土はどこですか
ビルマ、佛印、支那、タイ (5頁)

2 わが日本内地は魚の分布から考へて大きく北日本と南日本とに分けられますがその境はどこを境としますか? (5頁)

3 ミクランデコロといふ偉い美術家はどこの人でせう
イタリヤ、ドイツ、フランス、スウェーデン、オランダ (5頁)

4 今年國民力法によつて體力検査をうけるのは何才の人ですか? (10頁)

5 蒙古の首都は 太原、張家口、包頭、赤峰? (12頁)

6 赤ちやえ用の哺乳壺にちくびを付けるには直接付けがよいでせうか、それとも壺とちくびの間に長いゴム管のあるものがよいでせうか? (15頁)

7 蒙古の最も主要な礦産物は、何ですか、それは? (12頁)

8 本店に住込みで勤めてゐる店員の體力管理の義務は誰が負ふてせうか? (11頁)

9 ムツゴロとは一體何てせう
岩手縣の人たちがか同縣人を呼ぶ俗稱、ゲンゴロオに似た水中棲息蟲、有明海特産の魚の名? (5頁)

10 今わが監視隊員が派遣されてゐる佛印のフランス人總督は何といひますか? (5頁)

一問十點としてあなたは何時でしたか

復習室

★表紙

こゝは天津英租界ウィクトリア公園の一隅。廢物の砲車に奪はれて、イギリスの少女がひとり、思ひなしか深い愛ひに沈んでゐる。祖國は今戰亂のさ中、この少女の小さい胸にも戰爭の大きな波が、ひた／＼と打ち寄せてゐるのであらうか



眼疾は
早期に治療
下さい

結膜炎にも、トラホームにも、疲れ目にもスマイルも奏効は實に明快です!
またその常用は快よく眼疾を予防する

二十五銭 四十五銭
薬店にあり

新眼科薬

ルイマス

總代理店 株式会社 五重商店 東京・大阪

東京週報社
東京・大塚

胃腸に



米食國民の胃腸保護に
ビタミンB複合體の大量補給が叫ばれます

この栄養素は白い米飯を完全に燃焼同化して真に精力化する觸媒であり、胃腸を丈夫にして食欲、消化、便通を正常に保ち、更に脚氣を防ぐ作用があるからです。米にも天然にはB複合體が含まれて居りますが、精白したり、水で洗いだり、熱を加へたりして取り除くため、白い米飯にはこの栄養素が甚だ不足するのです。

B複合體はB₁、B₂、B₆など多種多様の要素から構成され、それらが相寄り相助けて綜合効果を發揮する點に、B₁とかB₂とかだけの單一劑と異なる優越性があるのです。

エビオス錠はこの貴重なビタミンB₁、B₂、B₆などの各要素を揃へて抱有する真正酵母劑です。米食國民に多いB缺乏症—胃腸無力、脚氣、四肢倦怠、脆弱體質等の矯正に賞用されて居ります。

エビオス錠

一三〇〇錠：一圓六十錢
一〇〇〇錠：四圓八十錢

大日本麥酒株式會社
東京・大阪・田邊商店

内閣印刷局印刷發行